

会計名 一般会計			世界を変える美しい本・怪談えほん展開催 事業	担当部	市民活動部
款	項	目		担当課	美術館
10	6	8		担当係	美術館

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			
		基本施策	文化・芸術			
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり			
	目的	インドの美しくユニークな絵本、日本の怪談えほんなど、様々な絵本の原画や制作過程を展示する展覧会を同時開催し、それぞれの世界観を紹介することで、美術に対する理解と親しみを深める機会を提供し、芸術文化の高揚を図る。	主たる内容	「世界を変える美しい本インド・タラブックスの挑戦」及び「怪談えほん原画展＋稲生モノケ録『ぼくはへいたろう』の世界展」を同時開催する。 ○会期 平成30年4月21日～6月3日（39日間） ○会場 全館 ○入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画			
		根拠法令	博物館法			
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成30年度～平成30年度	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

B 事業実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
	—		—		・ワークショップ 4回 ・ギャラリートーク 5回 ・えほんのじかん 5回 ・インドの定食キッチンカー 1回 ・宇野亞喜良氏と澤田精一氏の対談 1回 ・トークイベント 1回 ・南インドの定食ミールス食べ放題 1回		—	
	成果	・絵本の読み聞かせイベント「えほんのじかん」を開催し、気軽に楽しみながら芸術に触れる機会を提供できた。 ・インドの定食キッチンカーを呼び、インドの食文化にも触れる機会を提供できた。						
	課題	グッズの売上が予想を超える結果となり、支出予算が不足する問題や、来館者対応で人手が足りない状況が発生するなどの不都合が生じた。						
	指標名称（単位）		実績値			目標値		
		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	入場者数（人）	—	—	10,685	—	—		
成果指標	入場者アンケートの満足度（%）	—	—	79.2	—	—		
他市との比較検証	展覧会の巡回地の会期・入場者数…板橋区美術館：平成29年11月25日～平成30年1月8日・18,172人 「怪談えほん原画展」は刈谷市独自の事業である。							

C 事業コスト	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①	0	0	24,315	0	合計	24,315,018円	
	財源	特定財源	0	0	18,489	0	賃金	1,794,240円
		一般財源	0	0	5,826	0	報償費	586,500円
	職員人件費②	0	0	5,401	0	旅費	58,680円	
	総事業費（①+②）	0	0	29,716	0	需用費	10,510,307円	
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称		役務費	870,899円	
	30年度までの累積事業費	0		行政財産目的外使用料、入場料、印刷物売払収入、講座受講料		委託料	4,899,992円	
	2年度以降の事業費見込	0				負担金、補助及び交付金	5,594,400円	

会計名 一般会計			世界を変える美しい本・怪談えほん展開催 事業		担当部	市民活動部
款	項	目			担当課	美術館
10	6	8			担当係	美術館
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物等の資料作品を豊富に展示することが定められており、企画展開催は美術館運営上、必要性が高い事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	キッチンカーを呼び、食でも美術展を味わえるイベントを企画したことで、展覧会をより楽しめるようにした。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	企画展のプロデュースは、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となる。その指揮や企画展の運営は、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置付けられている。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	作品の展示のほか、展覧会関連ワークショップ等を行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所食堂と協力し、展覧会コラボメニューの提供を行い、双方での広告周知に努める。</li> <li>絵本の世界観を感じてもらえるよう、館内展示の照明を工夫したり、好評だった軽食の提供など、より興味を引くイベントや展示方法を企画する。</li> </ul>						

会計名 一般会計			トヨモーター展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	市民活動部 美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	戦後間もない頃に全国に普及した原動機付き自転車トヨモーター。かつて刈谷にあったオートバイメーカー・トヨモーターと中京圏のオートバイ史の一端を振り返る展覧会を開催することで、地元への愛着を深める機会とし、地域文化の高揚を図る。			主たる内容	貴重なバイクの実車や部品のほか、パンフレットや写真など様々な資料を展示する。忘れ去られようとする小さなメーカーの栄光と衰退の軌跡を検証・記録して次世代に伝えるとともにイベントを行う。 ○会期 平成30年7月21日～9月2日（38日間） ○会場 1階展示室・1階ロビー ○入場料 無料			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成30年度～平成30年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		・ワークショップ 5回 ・ギャラリートーク 5回 ・講演会 1回 ・デモ走行と撮影 1回 ・えほんのじかん 2回		—	
成果		・展示を見るだけでなく、戦後の文化や生活を懐かしみ、実際に体感できるように、展示車両等の走行イベントを設け、幅広い世代に楽しんでもらった。 ・講演会やギャラリートークを通じて、展示内容をより深く、分かりやすく理解できる機会を提供できた。 ・オートバイという珍しい視点から、刈谷の産業史を発掘した企画展であり、新しい来館者層を開拓する機会となった。							
課題		・イベント時にオートバイでの来館者が多く、臨時駐車場を設け、案内看板と警備員を導入していたが、わかりにくいなどの苦情が出た。想定を超える来館者があった場合、経費を発生させずに対応できる方法を検討する必要がある。 ・夏の企画展の展示作業（1階）と、市民ギャラリー（2階）利用の日がちが重なるため、今後、日程計画に配慮する必要がある。							
指標名称（単位）					実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
活動指標	入場者数（人）				—	—	15,745	—	—
活動指標	入場者アンケートの満足度（%）				—	—	89.8	—	—
他市との比較検証		刈谷市独自の事業である。							
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	7,044	0	合計		7,043,507円
	財源	特定財源	0	0	1,225	0	賃金	956,840円	
		一般財源	0	0	5,819	0	需用費	2,016,364円	
	職員人件費②		0	0	4,629	0	役務費	208,731円	
	総事業費（①+②）		0	0	11,673	0	委託料	3,861,572円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入、印刷物売払収入、講座受講料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			トヨタモーター展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	市民活動部
10	6	8			美術館
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	当館単独の展覧会であり、極力自前で写真やデータを整えて図録制作を行うことで、コストの削減を図った。また、イベントは地元のオートバイ愛好家の協力を得ることで低予算で実現した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	展覧会関連ワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所食堂等と協力し展覧会コラボメニューの提供を行い、広告周知に努める。</li> <li>第2次刈谷市文化振興基本計画に基づき、市内施設等との相互協力を強めていく。</li> </ul>					

会計名 一般会計			深堀隆介展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	市民活動部	
								美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	樹脂に金魚を描くという斬新な手法で注目を集める若手の現代美術家、深堀隆介（1973年～）のリアリティあふれる独自の世界観を紹介することで、美的好奇心を育む機会を提供し、芸術文化の高揚を図る。		主たる内容	深堀氏の初期から新作までの作品約200点を展示し、公立美術館では初めての本格的な個展を開催する。また、ライブペインティングなどのイベントを行う。 ○会期 平成30年9月15日～11月4日（44日間） ○会場 全館 ○入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度～平成30年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		_____		・ワークショップ 1回 ・ライブペインティング 1回 ・バスツアー 1回 ・作家によるスペシャルトーク 1回 ・公開制作 1回		_____	
成果		・現代の人気作家ということで、幅広い来館者に現代アートの魅力と楽しさを提供することができた。 ・作家を招いた公開制作や、ワークショップ、展覧会鑑賞を含むバスツアーなど多彩なイベントを企画し、市内市外問わず、多くの方に楽しみながら芸術に触れる機会を提供できた。							
課題		・来館者数と売上が予想をはるかに上回り、入場規制や予算流用をしなければならず、中止したイベントもあった。 ・来館者対応のため職員の人手が不足、スムーズな運営や職員の勤務体制でかなり苦慮した。 ・想定を超えた来館者と収入があった場合の対策方法を検討する必要がある。							
成果指標		入場者数（人）	—	—	38,800	—	—	—	
成果指標	入場者アンケートの満足度（%）	—	—	84.4	—	—	—		
他市との比較検証	展覧会の巡回地の会期・入場者数…平塚市美術館：平成30年7月7日～平成30年9月2日・66,372人								
C 事業 コスト	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①	0	0	27,323	0	合計	27,322,940円		
	財源	特定財源	0	0	27,323	0	賃金	2,304,840円	
		一般財源	0	0	0	0	報償費	350,000円	
	職員人件費②	0	0	6,558	0	旅費	294,230円		
	総事業費（①+②）	0	0	33,881	0	需用費	9,753,803円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称			役務費	1,144,907円	
	30年度までの累積事業費	0		入場料、印刷物売払収入、講座受講料			委託料	4,511,160円	
	2年度以降の事業費見込	0					負担金、補助及び交付金	8,964,000円	

会計名			深堀隆介展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	市民活動部
10	6	8			美術館
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	作家を招いたイベントを日にちを分けて多数企画したことで注目を集め、集客と売上向上につながった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	展覧会関連ワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所食堂等と協力し展覧会コラボメニューの提供を行い、双方で広告周知に努める。</li> <li>開館時間を通常より延長して行ったナイトミュージアムでは、普段とはちがった雰囲気が楽しめるという好評だったため、今度も興味を引くイベントを企画していく。</li> </ul>					

会計名			収蔵品等保存管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	7							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行うことで、美術館収蔵品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。		主たる内容	美術品動産保険、収蔵作品の修復、収蔵庫の燻蒸及び保存環境測定に関する費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	—		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 2階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 1階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 2階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・ 寄託作品の動産保険加入 ・ 1階収蔵庫燻蒸 ・ 収蔵作品の修復、額装 ・ 新収蔵作品の撮影	
成果		収蔵作品の適切な保存を図ったほか、新しく収集した一部の作品等の額装や撮影を行い、展示の管理が可能な状態に整えることができた。							
課題		新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復・額装は新収蔵品を優先して行っており、対処できなかった作品は次年度以降の予算内で数点ずつ行っている。そのため修復・額装をはじめ、撮影を必要とする作品が大量に残っている状況である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）			333	247	264	100	100
活動指標		修復、保存措置等をした作品のうち展示や収蔵品データベース等に活用した作品数（点）			255	226	149	150	150
他市との比較検証		修復、保存措置等をした作品数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館:33、碧南市藤井達吉現代美術館:約200、豊田市美術館:99、豊橋市美術博物館:0、稲沢市荻須記念美術館:2 収蔵品点数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館:2,502、碧南市藤井達吉現代美術館:1,680、豊田市美術館:3,516、豊橋市美術博物館:60,088、稲沢市荻須記念美術館:267							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,778	2,395	2,236	3,459	合計 2,236,127 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役員費 65,980 円		
		一般財源	2,778	2,395	2,236	3,459	委託料 1,781,347 円		
	職員人件費 ②		2,735	2,714	2,700	2,709	使用料及び賃借料 388,800 円		
	総事業費（①+②）		5,513	5,109	4,936	6,168			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			業務管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	作品選定、審査等の適正な業務管理を行い刈谷市美術館が收藏するにふさわしい美術品を収集することでコレクションの充実を図る。				主たる内容	刈谷市美術館美術品審査委員会の開催費用を支出する。		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱						
		対象者	美術品審査委員会委員、市職員			事業期間	平成4年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人	
成果		刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った優れた美術作品や、貴重な資料の収集を行うことができた。							
課題		審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		審査委員会開催回数（回）			1	1	1	1	1
活動指標		審査作品数（購入・寄贈等）（件）			49	62	15	50	50
他市との比較検証		審査委員会開催回数（回）・審査作品数（件）…高浜市やきものの里かわら美術館：1・28、碧南市藤井達吉現代美術館：2・27、豊田市美術館：0・0、豊橋市美術博物館：1・39、稲沢市荻須記念美術館：1・1							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		420	455	76	940	合計	76,470 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	51,600 円	
		一般財源	420	455	76	940	旅費	24,870 円	
	職員人件費 ②		3,908	3,877	3,858	3,870			
	総事業費（①+②）		4,328	4,332	3,934	4,810			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			一般企画展等実施事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	6	8								
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	常設展示を行うことで、地域の人々に刈谷市美術館収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深める機会の提供を図る。 また、呈茶事業を行うことで、気軽に茶道に親しむ機会の提供を図る。			主たる内容	収蔵作品の展示により年4回開催する常設展及び個人呈茶を実施する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を設定せず			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・第1期常設展「New Collection展」32日 ・第2期常設展「館蔵名品展」26日 ・特別展示「戸田提山展」5日 ・第3期常設展「静物画のこころ」29日 ・第4期常設展「表現のひみつ」40日 ・個人呈茶日数 232日		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「カガクの眼でみる絵画の世界」25日 ・第3期常設展「没後20年星野真吾展」40日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ 彼方へのまなざし」34日 ・個人呈茶日数 238日		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「没後60年河目梯二展」25日 ・第3期常設展「絵画を愉しむ 食の風景」34日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ 描かれた人びと」39日 ・個人呈茶日数 224日		・第1期常設展「西三河ゆかりの美術」32日 ・第2期常設展「すばらしき日本の美」21日 ・第3期常設展「1960-70年代のポスター」40日 ・第4期常設展「どうぶつパラダイス!!」39日 ・個人呈茶日数 170日		
成果		・常設展は、美術と個々の収蔵作品に親しんでもらえるように、ユニークなテーマを設けて4期開催し、各展ともに好評を得ることができた。 ・個人呈茶では、市民の茶道への親しμιと日本の伝統文化の振興を図ることができた。								
課題		・佐喜知庵の施設・設備・茶道具は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、日常的な消耗・劣化が著しく、また十分な修繕や買替えが定期的に行われていないため、計画的に修繕・買換えの予算化を行うことが課題である。 ・個人呈茶事業は委託団体の高齢化により、平成31年度より実施日数を削減することとなり事業の継続性が懸念される。								
C V コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
	成果指標	常設展入場者数（人）	43,209	39,947	35,078	40,000	40,000			
成果指標	個人呈茶人数（人）	5,907	4,426	7,714	3,500	3,500				
他市との比較検証	常設展開催日数（日）…高浜市やきものの里かわら美術館:213、碧南市藤井達吉現代美術館:232、豊田市美術館:81、豊橋市美術館:324、稲沢市荻須記念美術館:283 常設展入館者数（人）…高浜市やきものの里かわら美術館:21,130、碧南市藤井達吉現代美術館:22,335、豊田市美術館:29,309、豊橋市美術館:37,844、稲沢市荻須記念美術館:10,912									
C V コスト	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳				
	事業費 ①	4,059	2,910	7,673	3,914	合計	7,672,517 円			
	財源	特定財源	2,599	1,441	2,466	1,564	旅費	47,410 円		
		一般財源	1,460	1,469	5,207	2,350	需用費	1,669,624 円		
	職員人件費 ②	4,689	4,653	4,629	5,031	役務費	459,983 円			
	総事業費（①+②）	8,748	7,563	12,302	8,945	委託料	1,757,128 円			
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称			使用料及び賃借料	3,225,484 円		
	30年度までの累積事業費	0		冊子等頒布収入、呈茶料収入			備品購入費	512,888 円		
	2年度以降の事業費見込	0								

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	平成30年度以降に開催を予定している企画展について、調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行い、展覧会の充実を図る。	主たる内容	企画展開催に係る調査研究、出品作品の選定、次年度春の企画展PR用ポスター・チラシ等の印刷、発送等の準備を行う。					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市文化振興基本計画					
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備	
成果		・展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要である。 ・開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実が図ることができた。							
課題		次年度当初の春季企画展のPR方法を検討する。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標	春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）	94	98	96	95	95			
成果指標	秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）	92	95	95	95	95	95		
他市との比較検証	次年度以降の展覧会準備にかかる予算事業名及び内容…高浜市やきもの里かわら美術館：（展覧会事業費）借用料・広報費・展覧会運営費、豊田市美術館：（企画展調査費）旅費等、豊橋市美術博物館：（展覧会事業費）旅費、印刷費等、稲沢市荻須記念美術館：（令和2年度特別展）旅費								
C 事業コスト	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①	2,862	2,495	2,390	2,753	合計	2,390,222 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	667,280 円	
		一般財源	2,862	2,495	2,390	2,753	需用費	1,172,665 円	
	職員人件費 ②	6,252	5,428	5,015	6,192	役務費	280,277 円		
	総事業費（①+②）	9,114	7,923	7,405	8,945	委託料	270,000 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	教育普及活動を行うことで、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。	主たる内容	企画展関連のワークショップ及び夏休み・春休み期間中等に子ども向けワークショップを開催する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
	対象者	プログラムにより個別に対象年齢を設定		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・ワークショップ 8種類10回開催 ・参加者数 224人		・ワークショップ 13種16回開催 ・参加者数 521人		・ワークショップ 9種13回開催 ・参加者数 366人		・ワークショップ 12種12回開催予定 ・予定参加者数 500人	
成果		・他機関ではできない美術館ならではの創造プログラムを提供していることから、年々市民に広まり、特に園児・小学生向けプログラムは定員の約3倍の応募が集まり、好評を得ている。 ・各プログラムともに、美術への親しみと創る喜びを体験する充実した内容で実施でき、子供たちの創造力を育成を図ることができた。							
課題		さらに多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の発掘とともに、プログラムの補助スタッフ（臨時職員）の確保が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		開催回数（回）			10	16	13	12	12
成果指標		参加人数（人）			224	521	366	500	500
他市との比較検証		ワークショップ開催数（回）・対象者…高浜市やきもの里かわら美術館:30・小学生～大人、碧南市藤井達吉現代美術館:62・主に小学生（大人対象もあり）、豊田市美術館:0、豊橋市美術博物館:3・小学生～大人、稲沢市荻須記念美術館:6・幼児～大人							
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		707	542	460	849	合計	459,647 円	
	財源	特定財源	22	10	8	25	賃金	125,640 円	
		一般財源	685	532	452	824	報償費	273,380 円	
	職員人件費 ②		2,735	2,714	1,929	2,322	需用費	48,827 円	
	総事業費（①+②）		3,442	3,256	2,389	3,171	役務費	11,800 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		講座受講料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			美術品等購入基金積立事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	美術館		
10	6	8					担当係	美術館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	刈谷市美術品等購入基金の運用収入金を基金へ積立てを行い、適切な運用を図る。			主たる内容	美術品等購入基金の利子の積立てを行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例						
		対象者	対象者を設定せず			事業期間	平成 元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・運用収入金を基金に積立 725,634円		・運用収入金を基金に積立 301,680円		・運用収入金を基金に積立 401,880円		・運用収入金を基金に積立 512,200円		
成果		美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。								
課題		経済状況の悪化に伴う預金利率の低下により収益効果が悪化した。								
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
成果指標	運用収入金（千円）				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標					726	301	401	512	—	
他市との比較検証	購入基金の有無…高浜市やきもの里かわら美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：無、豊田市美術館：無、豊橋市美術博物館：無、稲沢市荻須記念美術館：有 基金額（内現金）・運用収入額（円）…稲沢市荻須記念美術館：53,200,191（同額）・16,928									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		726	302	402	513	合計		401,880 円	
							積立金		401,880 円	
	財源	特定財源	726	302	402	513				
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		782	775	772	774				
総事業費（①+②）		1,508	1,077	1,174	1,287					
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称					
	30年度までの累積事業費		0		美術品等購入基金積立金利子					
	2年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館及び佐喜知庵の適正な維持管理を行い施設の環境を最適に保つ。			主たる内容	光熱水費、施設修繕料、建物清掃料など美術館・佐喜知庵の施設管理に関する費用を支出する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和58年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 271日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 274日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 274日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 276日	
成果		施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な環境の提供ができた。							
課題		建設後35年を経過し、建物・設備の経年劣化が目立つ。施設の適正な維持、省エネルギーの観点からも計画的な施設・設備の更新を行うことが課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）			98	98.6	98.9	100	100
指標									
他市との比較検証		ギャラリー（貸館）の有無・展示室稼働率（％）…高浜市やきもの里かわら美術館：有・11.7、碧南市藤井達吉現代美術館：有・97.9、豊田市美術館：有・91.7、豊橋市美術博物館：有・73.4、稲沢市荻須記念美術館：有・93％							
C 事業コスト		単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①	32,668	33,518	33,581	34,492	合計	33,581,365 円		
	財源	特定財源	2,475	2,272	2,306	2,283	需用費	14,775,988 円	
		一般財源	30,193	31,246	31,275	32,209	役務費	862,781 円	
	職員人件費 ②	5,861	5,428	5,401	5,418	委託料	15,407,732 円		
	総事業費（①+②）	38,529	38,946	38,982	39,910	使用料及び賃借料	1,759,856 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0		美術館使用料、電話料実費徴収金					
2年度以降の事業費見込		0							
						備品購入費	775,008 円		

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	7					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館の施設を整備することで、来館者に快適な施設空間の提供を図る。		主たる内容	○茶室蛍光灯修繕 ○正面玄関傘立て修繕 ○防犯カメラシステム修繕 ○空調機器自動制御機器修繕 （デジタル指示調節計・SCSバッテリー） ○空調機冷温水二次ポンプオーバーホール修繕 ○空調機冷却水ポンプオーバーホール修繕				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度～平成30年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績 O 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		—		—		美術館の修繕 ・茶室蛍光灯修繕 ・正面玄関傘立て修繕 ・防犯カメラシステム修繕 ・空調機器自動制御機器修繕 ・空調機冷温水二次ポンプオーバーホール修繕 ・空調機冷却水ポンプオーバーホール修繕		美術館の修繕 ・消防設備点検不良箇所修繕 ・資料室空調機取替修繕 ・空調フィルター取替修繕 ・全熱交換器フィルター取替修繕	
成果		美術館の設備修繕は、予定されていた全ての修繕を実施し、来館者に快適な施設空間を提供できた。							
課題		施設・設備の経年劣化や補修部品の廃止等のため、建物・施設の改修、更新が必要な時期に達している。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		年間入館者数（人）	91,466	83,659	119,285	90,000	90,000		
活動指標									
他市との比較検証		平成30年度施設修繕額（千円）…高浜市やきもの里かわら美術館：150、碧南市藤井達吉現代美術館：889、豊田市美術館：122,704（改修工事のため）、豊橋市美術館：3,916、稲沢市荻須美術館：21,906							
C 事業コスト		単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①	0	0	1,604	2,600	合計	1,604,102円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,604,102円	
		一般財源	0	0	1,604	2,600			
	職員人件費②	0	0	2,315	4,644				
	総事業費（①+②）	0	0	3,919	7,244				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							